降り積もるモノ

わしたに マナ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
降り積もるモノ

【Ｎコード】
Ｎ７８４４Ｌ

【作者名】
わしたに　マナ

【あらすじ】
前作よりは長く書けました！
……。
読み返してみると長すぎたでしょうか…。

気付けば
地面には紅が広がる

私の手にはナイフ
足元には紅で汚れた君

ねぇ
こんなつもりは無かったの
本当よ

だって
私には君だけだった

いつだって
君だけだったのに

雨の日には傘を差して
晴れの日には風と遊んで
木漏れ日の中
お昼寝もしたわ

降り積もる想いは
まるで雪のようで

私を縛り
いつしか君をも縛る

降り積もる　雪の重みは
鉄のように

きっといつか
私を潰すわ

でも大丈夫
これで君は
永遠に私のもの

狂った想いは
どこまで行くのか

私を置いて
君を閉じ込めて

想いは狂気に変わり
狂気は君を切り裂く

潰される時は
きっと一緒よ

でもね
私は潰されたくない

何故君がいなくたったのかと
誰かが問いてくれたなら
私は
なんて答えるかしらね

私といたら
君も潰れちゃうからかしら

ねぇ
許して

どうか　許して

想いの狭間で
私は悲鳴をあげる
君はもう
喋れない

目から零れた
しょっぱい水に
君を
見た気がしたの
あれは
幻想かしら

私の目に
本物は映ってる？

もはや濁ったこの目を
信じたくはないわ

信じれるのは
君だけだったもの

でももう

君はいない

それなら私は
この銀の刃を胸に突き刺して

潰される運命から
逃れましょう
君のいない運命から
目を逸らしましょう

けれど運命は追ってくる
いつしか私は思い知る

君のいない
人生を
潰される
運命を

采は未だ

神の掌の上

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n7844l/

降り積もるモノ

2011年1月27日11時11分発行